

第2回首里城正殿完成記念事業 推進連絡会

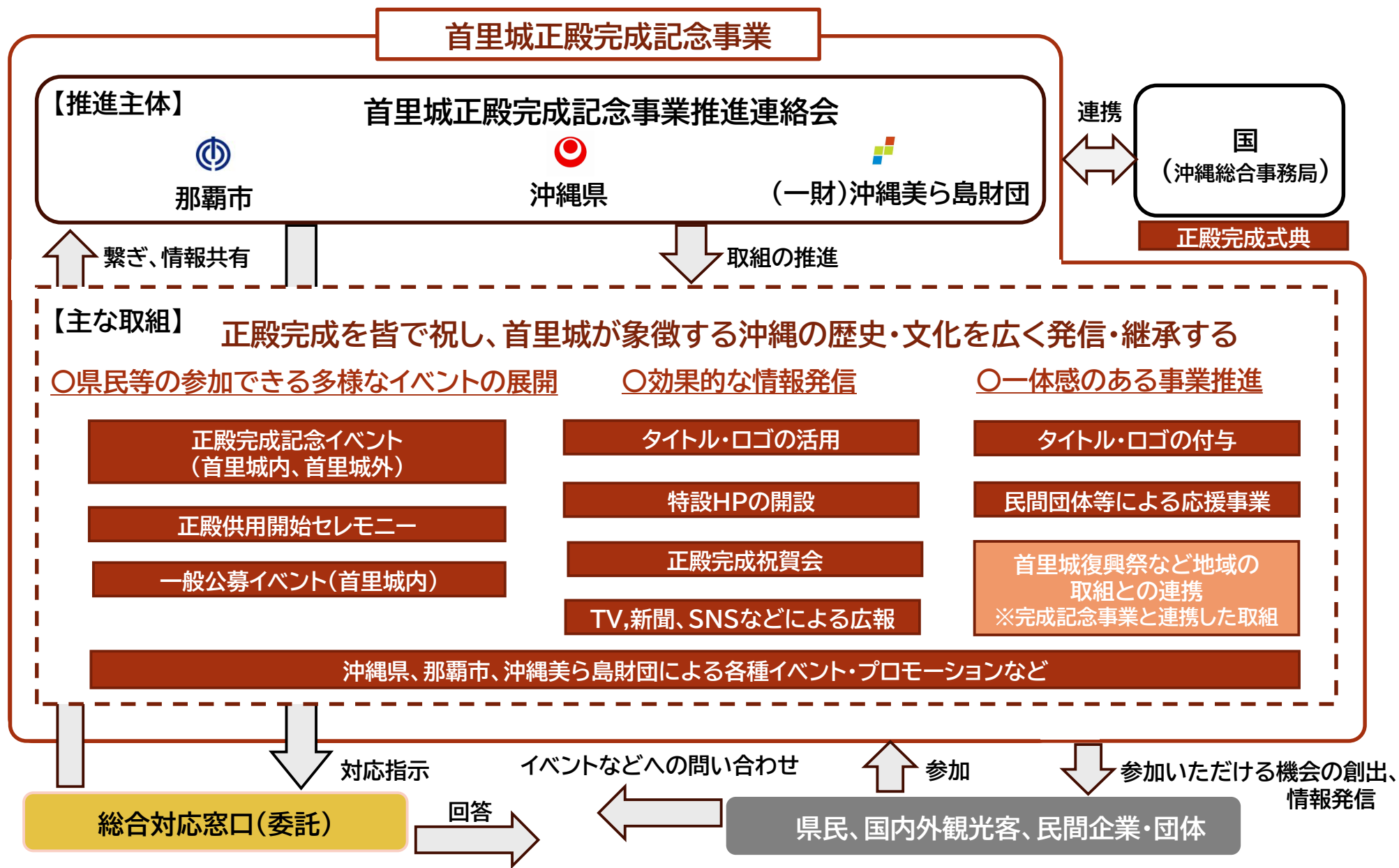
2. 協議事項



一般財団法人
沖縄美ら島財団
Okinawa Churashima Foundation

① 事業全体スキーム

1



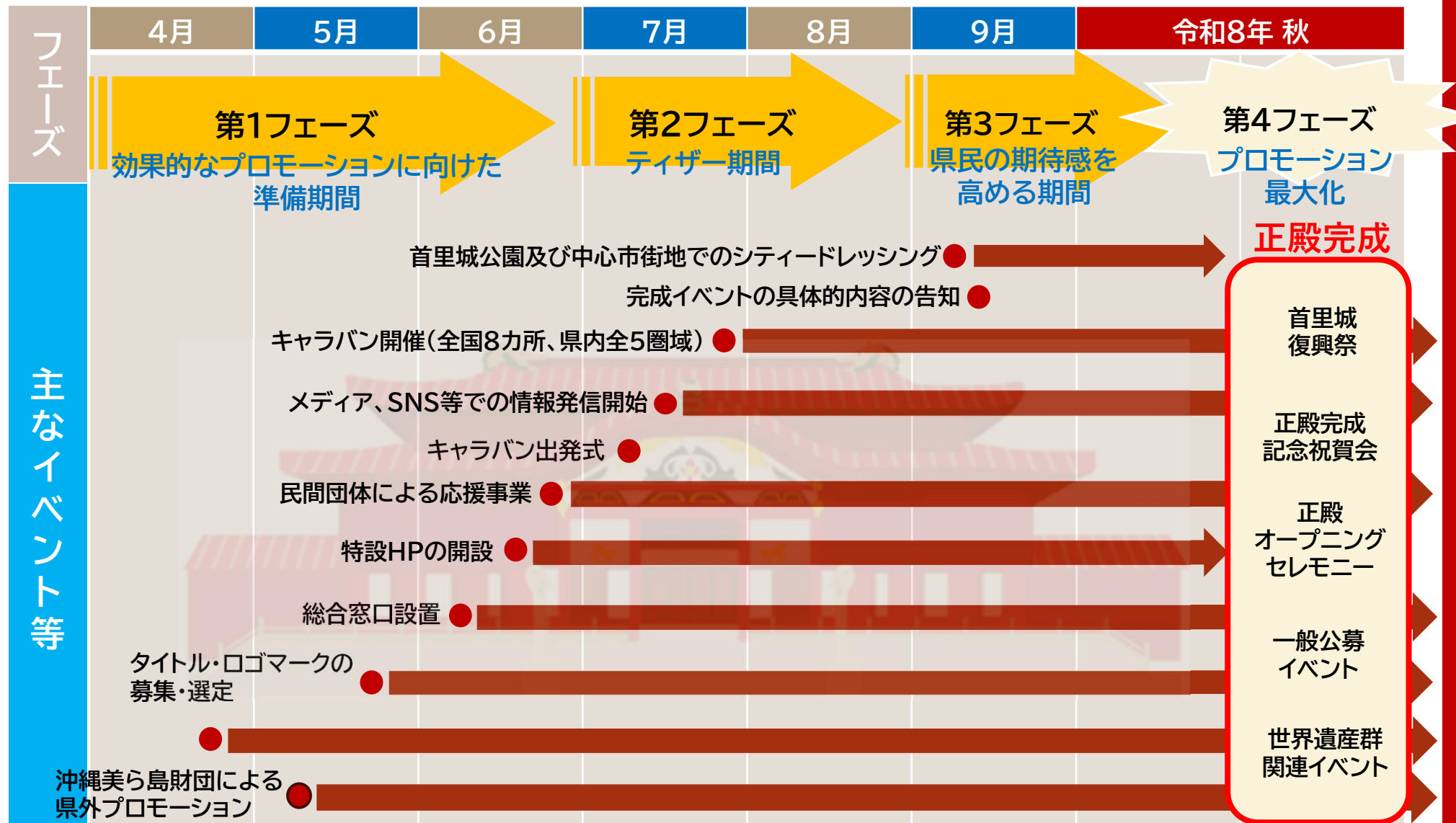
① 各機関の主な取組スケジュール

2

主体	令和8年度 取組名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
沖縄県	オープニングセレモニー・祝賀会							オープニングセレモニー、祝賀会					
	首里城復興キャラバン				■キャラバン出発式		県外8か所・県内5か所で企画展・ワークショップ等を開催						
	供用開始を祝うイベント						子どもたちを主役にしたイベント、一般公募イベント等						
	GREEN×EXPO2027												■ブース展示
	首里城正殿完成を記念したイベント(文化振興課)					琉球芸能 中庭夜舞台 (全5公演)				■12/20「首里城漫才!ぐすーじさびら」 ■1/23, 2/23 復興寄附御礼伝統芸能公演(県外)			
								首里城展(県立博物館・美術館)					
									■「しまじまの芸能祭」(11月予定/2日間)				
	国内需要安定化事業									■お城EXPO出展			
	沖縄観光グローバル事業												
沖縄空手振興事業									← 沖縄空手会館企画展開催(11/5予定～3/30) →				
									■沖縄空手特別演武会(11/7予定) ■沖縄空手アカデミー(11/14予定)				
那覇市	シティドレッシング								← 首里城公園までの沿道を装飾 →				
	首里周遊促進								← 観光カードの制作による周遊促進 →				
	首里城復興展示ブース in九州市長会		■5/14	首里城復興の歴史、工事進捗状況、復元赤瓦、首里城パネル等を展示									
	デジタルスタンプラリー事業								デジタルスタンプラリーによる周遊促進				
	那覇市制施行105周年記念式典		■5/20	鎌倉芳太郎氏を主役とした劇を実施、首里城復興ソング「SYURINO UTA」を市内小学生と合唱									
美ら島財団	首里城復興祭								11月1日(日)～11月3日(火・祝日) 「琉球絵巻行列」「古式行列」「特別見学ツアー」				
	首里城正殿完成記念月間								記念月間中の土日はステージイベントを開催				
	県外プロモーション												
民間等	応援事業(民間団体等の自主イベント)								応援事業として募集・承認				

① 首里城正殿完成に向けたプロモーションスケジュール

3



② タイトル・ロゴマークの審査結果及び公表について

4

首里城正殿完成を復興の大きな節目と捉え、首里城に象徴される沖縄の歴史・文化を含めた“沖縄の魅力”を国内外に発信し、未来へ向けた新たな発展への期待を多くの人々と共有すべく、関係機関で緊密に連携し各種事業に取り組むこととしている。そのため、幅広い層の関心を喚起し、効果的かつ統一的な広報展開を図るべく、発信力のある「タイトル」および「ロゴマーク」を選定する。

【審査会概要】2026年5月15日(金)

【募集期間】2026年2月27日～4月17日

【応募総数】<タイトル>970件 <ロゴ>278件

◆タイトルマーク部門審査員

所属・役職	名前
OKINAWA GRIT 代表	遠藤 美弥子氏
沖縄県首里城復興課 課長	伊良部 孝一氏
那覇市経済観光部観光課長	古堅 大輔氏
(一財)沖縄美ら島財団琉球文化財研究室 室長	幸喜 淳氏

◆ロゴマーク部門審査員

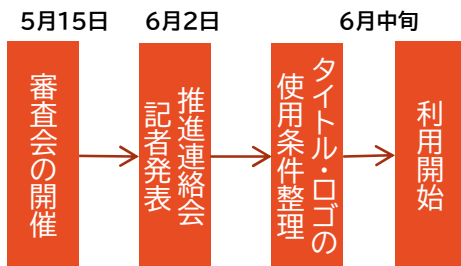
所属・役職	名前
沖縄県立芸術大学デザイン専攻 教授	赤嶺 雅氏
公益社団法人日本グラフィックデザイン協会 沖縄地区代表幹事	ウチマ ヤスヒコ氏
沖縄県首里城復興課長	伊良部 孝一氏
那覇市経済観光部観光課長(代理)	與那覇 博訓氏
(一財)沖縄美ら島財団琉球文化財研究室 室長	幸喜 淳氏

<今後の活用方法>

選定したタイトル・ロゴマークは首里城正殿完成記念事業推進連絡会において活用する。

また、首里城正殿完成記念事業に参画したい民間事業等に対しても付与することとし、一体感のある事業推進に取り組む。

- ・各種広報やHPにて公開
- ・各関係機関や関連イベントにて使用
- ・応援事業の応募にて承認を得た場合に、タイトルやロゴマークを付与



<タイトル最優秀>

ぐんじょう またた あか よみがえ しろ
「群青の瞬き紅く蘇る城」

やすだれいこ
作者:安田玲湖 様
(岐阜県)

●【意味】

悠久の時も、一瞬一瞬の積み重ねで出来ていて、思い出も走馬灯の如く儚く感じる。かつて燃え落ちた城は、青く広がる空と、深き海との間に、厳かに蘇り誇り高く在る。

●【審査会総評】

首里城正殿の世界遺産や文化財としての格式と、沖縄の青い空と海との間、朱色・赤土・弁柄をまとった紅い正殿が大勢の人たちの想いにより早期によりよみがえったことについて、うまく表現されている。また、正殿の背後に青い空が広がっている情景もイメージできるので良い。

<ロゴマーク最優秀>



むらやまたくや
作者:村山卓也 様
(沖縄県)

●【意味】

琉球の誇り・首里城を中心に、昇る太陽と波で再生と未来を象徴。歴史と文化を継承し、新たな沖縄の希望を力強く表現したロゴ。

●【審査会総評】

弁柄色の首里城が、波と太陽光の中から再生する瞬間を象徴的に捉えた作品。簡潔に整理された造形の中にも首里城らしさと力強さが表現され、見上げる構図が堂々とした存在感を高めている。赤・黄・紺の配色バランスも良好で、躍動感や希望、完成への期待が分かりやすく親しみやすい優れたデザインである。

③ 応援事業の募集について

5

記念事業の開催趣旨に賛同する地方公共団体、民間企業、各種団体等(以下、「民間事業者等」という。)が自ら実施する事業とともに首里城正殿完成を祝い、首里城復興への気運醸成を図ることを目的として、民間事業者等が自主的に行う事業を応援事業として募集する。

●募集期間

令和8年6月15日(月)～令和9年1月29日(金)

●応募要件

(1)実施期間

令和8年7月1日(水)～令和9年2月28日(日)

(2)主催者/以下のいずれか

- ・県内地方公共団体
- ・事業の企画、運営実績を有する法人又は団体

(3)経費について

事業に要する経費はすべて応募者負担

(4)以下のすべての事項に該当すること

- ・営利を主たる目的としないこと
- ・個人の行事でないこと
- ・特定個人の売名等に利用するものでないこと
- ・国又は地方公共団体等の施策に反対するものでないこと
- ・政治的又は宗教的意図をもつものではないこと
- ・法令又は公序良俗に反する行為を行う恐れのないこと
- ・暴力団員または暴力団若しくは暴力団員と密接な関係を有する者が主催する行事等、公安または風俗を害するおそれがないこと
- ・一般に広く公開されること
- ・その他、承認すべきでない特段の事情がないこと

●応募事業の審査方針(案)

- (1) 首里城正殿完成に関する祝賀ムードを醸成できるものであるか
- (2) 首里城復興への気運醸成を図るものであるか
- (3) 安全対策および運営体制が具体的かつ適切なものとなっているか

●審査手続き

「応援事業の審査方針」に基づき、首里城正殿完成記念事業運営支援事務局にて審査し、承認の可否を連絡する。

●注意事項

- 承認された事業については以下の事項に関して遵守するものとする
- 1.事故、損害、苦情等が発生した場合は、主催者の責任で処理を行うこと
 - 2.事業実施に必要な許認可等は、主催者の責任で行うこと
 - 3.承認後に応募要件に反する事項がある、または上記1～2が遵守されないと首里城正殿完成記念事業運営支援事務局が認めたときは承認を取り消す場合がある。

●応援事業の取扱

- 承認された事業で、希望される場合は以下の提供を行う。
- ・首里城正殿完成記念事業タイトル・ロゴマークの利用
※タイトル・ロゴマークガイドラインを遵守すること
 - ・首里城正殿完成記念事業推進連絡会の特設HPへの情報掲載・広報協力

●申込手続

- ・特設サイト「応募フォーム」より必要事項を記入して申し込む。

■応援事業の一例(R4年令和首里城復興イベント参考)



首里城うむいの燈プロジェクト
主催:首里城うむいの燈プロジェクト
事業内容/うむいのメッセージ募集、ランタンウォーク



首里城復興DX共創ラボ一般公開/令和首里城復興イベント展示
主催:SCSK株式会社
事業内容/DX共創ラボの一般公開、首里城復興イベントAR謎解きラリーの開催



イオン首里城復興支援プロジェクト
主催:公益財団法人イオンワンパーセントクラブ
事業内容/首里城復興イベントワークショップの開催、復興支援ポスターコンクール等

④ 特設HPの開設について

6

特設サイトを開設し、首里城正殿完成記念事業推進連絡会の参加団体が実施する記念事業について発信を行う。また、当該サイトは多言語化を行い、国内外への情報発信につなげるものとする。

ホームページドメイン <https://shurijocastle.okinawa>

■サイトイメージ



■トップページ構成案

多言語対応
(プルダウン形式で言語選択可能)

お知らせ

記念事業スケジュール
(イベント情報の紹介)

タイトル・ロゴマーク紹介

応援事業募集案内

問い合わせメールフォーム

広報素材ダウンロード

相互リンク・アーカイブ

多言語に関しては、英・繁体・簡体・韓・仏語を想定

必要に応じ、随時情報の更新をお知らせする。

記念事業推進連絡会(県・那覇市・財団)が行う事業の年間スケジュールおよび、イベント概要の紹介。

タイトルロゴの使用ガイドライン、一般公募の旨、作者紹介など

応援事業案内・申込フォームを格納。一元的に申し込み可能。

簡易な質問に対する回答及び、事務局連絡先の記載

使用可能な素材の格納

記念事業関連HPとの相互リンク、また映像コンテンツの格納等

⑤ 総合対応窓口の設置について

7

正殿完成に向けては、国内外から高い関心が寄せられており、参画したいさまざまな主体から県や首里城公園に対し問い合わせ・ご要望が多数寄せられることが想定される。そのため、問い合わせ等に対し、連絡会の事務局である沖縄県首里城復興課の下にサポート事務局を設置(県により委託)し、スムーズな記念事業の実施につなげていくものとする。

なお、当該サポート事務局において特設サイトの更新、応援事業の受付・整理、タイトル・ロゴマークの付与等に対応するものとする。



●各種問合せ/ 情報とりまとめ

電話番号:050-1793-3153

Mail:info@shurijo-okinawa.com

shurijo_okij@okw.jtb.jp

HP : <https://shurijocastle.okinawa>

【問い合わせ対応イメージ】



問い合わせ者

問合せ
内容聴取



総合窓口

※内容により、関係団体や那覇市窓口や各イベントサイトなどへのご案内を誘導する場合もある。

基本情報

音声案内・メール・
SMS等のご案内

関係各所へ確認、回答

または

担当箇所への誘導

具体的な内容／詳細な
回答を要する質問

【概要】

期間: 令和8年6月2日～令和9年2月末

窓口時間: 月～金曜日 9時～17時

(繁忙期は土日・祝日対応変更予定)

問合せ方法: 電話、メール、AI対応

【想定される主な問い合わせ】

① イベント(記念事業)内容

・日程・会場・参加方法

② 応援事業・ロゴ使用に関する相談

・対象となる事業について

・申請内容や方法について

・ロゴ使用の際の取扱い方について

③ メディア・団体からの問い合わせ など

・各種記念事業への取材申請

・プレスリリース等に使用可能な素材について

⑥ 令和8年度首里城復興祭について

8

琉球王国文化の魅力と首里城復興への期待感を県内外へ発信し「文化観光」への貢献を目的に、首里城復興祭を開催する。復興祭のメインプログラムとして、那覇市国際通りで華やかな「琉球王朝絵巻行列」や「古式行列」を実施する。

事業名: 令和8年度首里城復興祭

期 間: 令和8年11月1～3日(日～火・祝)

場 所: 国際通り、首里城公園及び周辺

主 催: 首里城祭実行委員会

共催(予定):

沖縄県、那覇市、首里振興会、(株)沖縄タイムス社、那覇市国際通り商店街振興組合連合会、(一財)沖縄美ら島財団(事務局)



国王・王妃選出大会(7/12)

歴代国王・王妃に参加いただき、復興の年にふさわしい国王・王妃を選出する。大会はタイムスホールで一般公開で開催。

古式行列(11/3)

国王が国家安泰や五穀豊穡を祈願した「三ヶ寺参詣行幸」の行列を厳かに再現。歴史と伝統の継承を象徴。

琉球王朝絵巻行列(11/1)

- ・行列を700名規模へ拡大
- ・参加型プログラムの拡大
- ・総合監修者の配置
- ・国内外へのライブ配信
- ・プロによるPR動画の撮影
- ・旅行会社と連携したツアー造成

首里城公園内イベント(11/1～3)

- ・琉球芸能公演(人間国宝による舞踊や創作芸能)
 - ・国王・王妃出御
 - ・万国津梁の鐘つき体験
- 他多数イベントを開催

期間中の連携・取組

■うむいの燈プロジェクトとの連携

「琉球王朝絵巻行列」と「うむいの燈プロジェクト」を同日開催する。

日中は「復興ウォーク」、夕方は「ランタンウォーク」として国際通りから首里城公園まで歩いて正殿完成を盛り上げる。

■正殿完成記念月間

これまで取り組んできた機運醸成の総仕上げとして「**正殿完成記念月間**」を展開する。期間は11月1日から、県内外から多くの来訪者が見込まれる12月6日(NAHAMARASON)まで。初日の「琉球王朝絵巻行列」を記念月間の幕開けとして、関係機関と連携し盛大にイベントを実施する。記念月間中は、県事業と連携し特設ステージを首里城公園の下之御庭および芝生広場に設置し、正殿完成記念事業や各種連携イベントの実施拠点として活用する。